

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人、家族と話し合い確認を実施。 終末期での対応を職員が学ぶ。	利用者や家族へ重度化・終末期になった場合の方向性の確認の徹底。 職員の終末期での対応策を研修等で高める。	入居中の家族に対し、重度化した場合の意向を確認し、次の施設への申し込み支援を実施する。今後入居の方に対し、当施設が最期の場所でないことの説明をし、理解を得て他施設への手続きの支援もしていく。	12ヶ月
2	35	○災害対策 年2回の避難訓練の実施を、利用者を含めた訓練とする。(1回は夜間想定とする) 避難先、連絡先を家族に周知しておく。	定期的な避難訓練の実施と、全職員の理解の浸透。 家族の方への、避難に関する連絡先の周知の実施。	年2回の避難訓練の日程を早めに周知し、多くの職員の参加を促す。訓練計画を職員全員に周知し、意識の向上と、訓練参加を計る。 家族に避難時の連絡先を通知する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。